

2022年度
自己評価報告書

2023年3月31日
IGL医療福祉専門学校

目次

1	学校の教育目標-----	2
2	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画-----	2
3	評価項目	
	（1）教育理念・目的・育成人材像-----	3
	（2）学校運営-----	3
	（3）教育活動-----	4
	（4）学修成果-----	5
	（5）学生支援-----	5
	（6）教育環境-----	6
	（7）学生の受け入れ募集-----	7
	（8）財務-----	7
	（9）法令等の遵守-----	8
	（10）社会貢献・地域貢献-----	9

1 学校の教育目標

本校は、『「隣人愛」～自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい～』を教育理念として掲げている。「隣人愛」とは、苦しみを持つ人に対して、その人と自分との過去の関りや、国籍、思想の違いを超えて、その人の必要に応える行為を行おうとすることです。相手を受け入れ、自分を愛するように、他者を愛することで、自らが苦しみを持つ人にとっての「隣人」になろうとする愛を持ち、心からの奉仕ができる人間を育てたいという願いを込めている。この内容については、学校案内パンフレット、学生募集要項及び学生便覧に記載され、全教職員で共有されている。

また、『「自信と謙遜」～オンリーワン。世界中で自分という存在はただ一人であって、かけがえのない命なのです～』を校訓としている。自ら理想を掲げ、その実現に向けて日々努力することにより、自分に対する自信をつける。真に自信のある人は、利己主義から解放され、他人に対して寛容となり、相手の立場を受容し、謙遜の徳をもって社会に貢献できる。

本校においては、その教育理念と校訓に基づいて、教育目標を「福祉と医療に関する専門知識を身につけ、健康で明るい社会を創造する人材の育成、および、言語・文化両面を身につけた外国人留学生の育成を行うことにより、将来にわたって広く地域社会や国際社会に貢献する。」と定めている。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1) 教育力の強化

- (1) 基礎・土台となる基礎学力
- (2) 協働学習と実物・本物体験
- (3) 良い人間関係に基づく協育
- (4) #フリーマンデー制度の充実
- (5) 国家資格の取得
- (6) 留学生の日本語能力資格の向上
- (7) 学生支援
- (8) 教職員研修

2) 進路支援体制の構築

- (1) 就職・進学指導体制
- (2) 進学指導体制
- (2) キャリアセンター（仮称）設置に係る検討の推進

3) ステークホルダーとの連携

- (1) 学生の出身校と出身地域との連携
- (2) 保護者との連携
- (3) 地域貢献活動の実施
- (4) 企業・団体との連携

4) 組織・環境の改善・改良

- (1) 組織体制の整備
- (2) 研修
- (3) 環境整備

5) 募集力の強化

- (1) 入学定員の確保
- (2) 入試広報の充実
- (3) 入試制度の充実

- (4) リカレント教育の充実
- 6) 経営改善
 - (1) 収支分析に基づく方針の策定
 - (2) 経営資源の最大化・最適化を図る経営方針の策定
 - (3) 新規事業の検討
 - (4) 全教職員の現状掌握、目的・ビジョン・方針の理解構築
 - (5) 「選ばれ続け、健全な経営状態を生み続ける循環」の創出
- 7) 新型コロナウイルス感染症への対応
 - (1) 関係各署との連携
 - (2) 感染対策
 - (3) 環境整備

3 評価項目

(1) 教育理念・目的・育成人材像

点検・評価項目	適 切：4	ほ ぼ 適 切：3	や や 不 適 切：2	不 適 切：1
理念・目的・育成人材像は定められているか。	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	③	2	1

■ 総評・課題

- ・教育理念・教育目標・ビジョン、ミッション、バリューの価値観は教職員に周知されており、グループウェアで常時確認できる環境となっている。また、本校の教育理念・校訓等は、学校案内・学生便覧だけでなく学校ホームページに掲載しており、学生以外にも広く周知している。
- ・各学科の教育目標・育成人材像は、関連業界の現在のニーズはもちろん、将来起こり得るニーズに対応できるような先見性を反映できる計画を遂行している。

(2) 学校運営

点検・評価項目	適 切：4	ほ ぼ 適 切：3	や や 不 適 切：2	不 適 切：1
目的に沿った運営方針が策定されているか。	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	④	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規律等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	③	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか。	4	③	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4	③	2	1

■ 総評・課題

- ・定期的な会議（職員朝礼・調整会議・定例教職員会議・校務運営会議）（学校マネジメント会議・学校経営会議・グループ会議）の開催、グループウェアの活用により、学校運営の進捗状況・情報共有・課題等を全教職員が把握・協議できるよう努めている。
- ・ICT機器を活用する教育を推進する組織として2021年度に創設された「企画・研修部」は、ネット環境の整備、教育の向上・充実だけでなく、グループウェア「Garoon」の導入による教職員間の情報共有・コミュニケーション・業務効率化において、飛躍的な成果をあげた。
- ・人事評価制度の整備については、引き続きの課題である。

(3) 教育活動

点検・評価項目	適 切：4	ほ ぼ 適 切：3	や や 不 適 切：2	不 適 切：1
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	④	3	2	1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④	3	2	1
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1
授業評価の実施評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界との連携において優れた教員の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

■ 総評・課題

- ・年2回教育課程編成委員会を開催し、専攻分野の企業、業界団体等の委員の意見や要請等を把握・分析し、授業科目の開設その他授業内容や方法等を含む教育課程の編成に活用している。
- ・昨年度は、全学科に情報通信技術を活用した ICT 教育を導入し、教職員も研修を重ね教育内容の充実・向上を図り、今年度からは校務の円滑化をはかる為、グループウェアを活用した。
- ・フリー・マンデー制度は 2 年目を終了した。この制度の設置趣旨は、不確定（VUCA）な時代を

たくましく生き抜くために、学生が授業以外の分野で自ら様々な可能性にチャレンジしていく事であったが、実施の中で学生の参加数の状況や実態から再検討を行い、2023年度からは資格取得や技術向上のための自主勉強会・実技練習会を含めた内容に変更する事とした。

(4) 学修成果

点検・評価項目	適 切：4	ほ ぼ 適 切：3	や や 不 適 切：2	不 適 切：1
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

■ 総評・課題

・2022年度実績

<国家資格および検定結果>

○国家資格

介護福祉学科	100%
鍼灸学科 はり師	100%
きゅう師	100%
柔整学科	40.0%
歯科衛生学科	86.4%

○検定試験

日本語学科	N2取得者 3名 / N3取得者 12名
国際コミュニケーション学科	N2取得者 12名

- ・退学や休学の可能性がある学生の早期学習状況把握・面談や補講によるフォローを継続して行うと共に、オープンキャンパス等で学習内容や職業間の理解を深め、退学防止に繋げる。
- ・引き続き国家資格・検定試験の合格率の向上を目指し、支援体制の充実に努める。

(5) 学生支援

点検・評価項目	適 切：4	ほ ぼ 適 切：3	や や 不 適 切：2	不 適 切：1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1

課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
高等学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

■総評・課題

・2022年度実績

<就職率>

介護福祉学科	100%
鍼灸学科	100%
柔整学科	100%
歯科衛生学科	100%

<希望進路の進学率>

日本語学科	95.4%
国際コミュニケーション学科	83.3%

- ・ 今後は各学科が行う進路指導をサポートするためのキャリアセンター的な部署を新設する必要がある。その新設部署が求人情報の一元化・共有化を図り、既存の進路の整理をするとともに、新たな就職先・進学先の開拓にも寄与し、これまで以上の丁寧で行き届いた、学生のニーズに沿いつつ、自信をもって送り出せる就職支援を行うことが必要である。
- ・ 従来の求人票の獲得中心業務に加え、学生に対するキャリア教育を取り入れ、就職講座を開催、勤労観・職業観およびコミュニケーション能力の向上を図っていく。

(6) 教育環境

点検・評価項目	適 切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不 適 切：1			
	施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

■総評・課題

- ・ 文部科学省が推進する教育の情報化により、本校では 2021年度からネット環境を整備し、ICT 機器を活用した教育を開始すると同時に、「知識・技能」・「思考力・判断力・表現力」だけではなく「主体性・多様性・協働性」を身に付けるという教育の成果を目指した教育を継続して行っている。
- ・ 学生生活の満足度を向上させる為、継続して校内の環境整備について検討が必要である。
- ・ 校内・学生寮の修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて中長期の修繕計画を法人本部と

協議していく。

(7) 学生の受け入れ募集

点検・評価項目	適 切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不 適 切：1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

■総評・課題

- ・2022年度からWEB 出願を導入し、出願者に対して願書取り寄せの手間や入力漏れの確認や修正が容易になり、急な進路変更や締切間際の出願にも対応しやすくなった。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策も講じて来校によるオープンキャンパスを再開し、またオンラインによる動画オープンキャンパスなどの情報発信も継続して実施している。
- ・遠方や新型コロナウイルス感染症に不安がある方に対して、自宅に居ながら学校の内容を知り、理解できるようなオンライン説明会や Instagram、YouTube 等のような SNS を使った広報活動を構築している。
- ・ステークホルダーへの理解や協力、連携の強化を直接間接に図る。高校訪問の計画的・継続的な実施、連携業者の高校との信頼関係を活用した情報発信や広報・募集活動の実施、保護者への個別フォローや情報発信などを計画的に行う。
- ・入学検定料、授業料等については、募集要項や本校ホームページにも掲載され、入学検討者に周知されている。

(8) 財務

点検・評価項目	適 切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不 適 切：1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4	3	②
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

■総評・課題

- ・学校法人が財務体制を安定的に管理し、健全な学校運営ができるような仕組みが構築されているが、多様な進路選択と少子化、専門学校にとどまらない進学市場での競争・競合などに対して根本的な改善・解決を目指すために、中長期の経営の改善・改革を図る視点で数値的な指標を明確にする必要がある。

- ・経営資源の最適化を図るため、2023年10月に向け日本語学科増員（総定員240人⇒280人）、2024年4月に向け介護福祉学科定員減（学年定員80人⇒40人）の計画を策定し、申請を行った。

(9) 法令等の遵守

点検・評価項目	適 切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不 適 切：1			
	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

■ 総評・課題

- ・職業実践専門課程の認定校である本校は、年2回学校関係者評価委員会を開催し、学校が行った自己点検評価の結果について学校関係者による外部評価を行っている。教育活動・学校運営について、社会のニーズを踏まえた目標を設定、その達成状況や取り組みの適切さについて評価・公表をすることにより、組織的に改善を図っている。
- ・各学科の設置や運営に係る法令は遵守しており、毎年の現況調査を報告している。
- ・個人情報については、その重要性を十分に認識して、学校法人全体の取り組みとして各種情報の保護を図っている。
- ・電子情報上の個人情報を適切に保護し、社会的信用を確保することを目的に「ICT教育関連ガイドライン」を定めている。本校においては、教職員、学生、保護者等に啓発、周知し、これら規則等の遵守に努め、適切な個人情報保護の徹底を図っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

点検・評価項目	適 切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不 適 切：1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	④	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

■ 総評・課題

- ・各学科の取り組み
介護福祉学科…高等学校に対して教員を講師として派遣した。
鍼灸学科・柔整学科…地域のスポーツ大会や高等学校の部活動に対しトレーナー活動を行った。
- ・新型コロナによる影響で、満足な活動が出来なかったため、次年度の活動に期待したい。